

【創世記第37章】

「あるとき、ヨセフは夢を見て、それを兄たちに告げた。すると彼らは、ますます彼を憎むようになった。」(37：5)

ヤコブの息子、ヨセフの物語の始まりです。ヨセフはヤコブの年をとった時の子でヤコブの愛していたリベカの息子であるという事で、父ヤコブはヨセフを偏愛していました。これが他の息子達の反感をかったのです。「ヨセフに対して、彼を憎み、彼と穏やかに話すことができなかった。」その上ヨセフは束や、太陽と月と星が自分を拝んでいる夢を見たことを兄たちに話したのです。ヨセフは見た夢をそのまま語ったのですが、それを聞いていた兄たちの心は平静ではられません。妬みの大きな罪です。しかし父はそれを心に留めていました。それはかつてヤコブも失意の中で夢の中で(創28:11～) 神様の祝福のメッセージを聞いたからでしょう。

夢と言ったら、イエス様がお生まれになられた時、マリアの聖霊による受胎告知に対して、いいなずけヨセフに夢を通して恐れないようにと語られています。また、使徒の働き2：17～21はヨエルの預言ですが、「『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。』とあり、老人の見る夢も預言であることが述べられています。

ヨセフの見た夢は預言でした。夢を見たことで、彼の人生に大きな波紋が起き始めます。神のことば、預言には注意が必要です。自分のものとして高慢になれば刈取りをしてしまいます。ヨセフの受難が始まりました。父に言われて、ヨセフは兄たちの所に使いに行ったことで、兄達が「夢見る者がきた」と穴に閉じ込め、ミデヤン人の商人に売られ、エジプトに連れて行かれたのです。憎しみと妬みがヨセフにもたらした災い。その中にルベンの存在があります。(21～、29～)いつも神と共に歩む者には、神様の愛のご配慮があるのですね。そして偏愛したことによってもたらされた父の悲しみ！罪は罪を生み出します。私達はそのサイクルの中に生かされています。それを打ち破ったのがイエス様の十字架の愛と救いでした。

今年も殉教聖会が西坂の丘で行われました。浦上のクリスチャンがあの恐ろしい迫害の中で何故信仰を守られたのか？それは3つあげられると言われました。地下組織があったこと。バスチャンの日めくりがあったこと。そして神のことば(預言の言葉を含む)があったことでした。神の言葉を捉えるというのは信仰の中心です。私達はこの信仰を継承しているのです！！神のことば、それが夢であれ、直接語られることばであれ、この言葉に聞き従ってゆく歩みは、奇しい、主のわざを見る歩みです。ヨセフもまた大きな苦難、試練の中で神のことば、預言の言葉を握って離さなかったことで、その信仰はぶれていませんでした。なおなお主のみ言葉に聞き従って神の栄光を見てゆきましょう！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.2.8 No.827

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10

2015年2月5日
殉教記念聖会映像
(保存版)
西坂／ブリックホール



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

